

岐阜県図書館から取り寄せできます

「読みたい本を可児市立図書館の蔵書検索で探したけど、“該当なし”だった(泣)」とあきらめている方へ！
他の公共図書館から取り寄せることができるかもしれません。

本館・分館のカウンターでおたずねください。

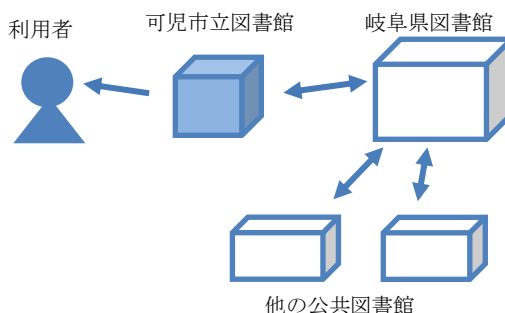
岐阜県図書館の所蔵する本を借りたい時は…

- (1) 「本が県図書館にあるか」を、岐阜県図書館のウェブサイト <https://www.library.pref.gifu.lg.jp/index.html> で調べる。もしくは本館・分館のカウンターで職員に聞く。
- (2) 本館・分館のカウンターにある「予約(リクエスト)申込用紙」に記入して申し込む。

本の受け取り、返却ともに可児市立図書館でできます。
申し込み時に県図書館に本があれば、1～2週間で可児市立図書館に届きます。用意できたら電話でご連絡します。

(※注意) 貸出期間は、可児市立図書館所蔵の本を借りた場合とは異なり、2週間程度になります。また、原則として延長はできません。返却はカウンターに直接お返しいただきます(返却ポストは利用できません)。

県内の多くの公共図書館は、岐阜県図書館を通じて本の貸し借りをしています。これを「相互貸借」と言います。



相互貸借で借用した本は、専用の袋に入れて貸出します。袋に入れて、借りた館のカウンターへお返しください。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

遠藤 周作

(えんどう しゅうさく 1923～1996年 東京生まれ)
12歳でカトリックの洗礼を受ける。フランス留学を経て『白い人』で芥川賞を受賞。“第三の新人”の一人。『海と毒薬』『侍』『深い河』などの著作で、日本の精神風土とキリスト教というテーマを追求する一方、イタズラ好きで知られ、ユーモア作品も多数。1996年没。

マーティン・スコセッシ監督によって映画化され、今年日本でも公開された『沈黙』(新潮社)を紹介し
ます。舞台は17世紀、キリシタン弾圧の嵐が吹き荒
れる日本へ渡ったポルトガル人司祭ロドリゴは、想像
を絶する迫害を受ける隠れキリシタンたちの姿を目
の当たりにします。捕らえられたロドリゴは、拷問を
受ける信徒の命か、信仰か、究極の選択を迫られます。
「主よ、あなたは今こそ沈黙を破るべきだ。もう黙っ
てはいけぬ。」苦悩の極みのロドリゴの叫びにも、
神は黙したまま答えてはくれません。ロドリゴのとっ
た行為は…そして彼の中の信仰の姿は…。圧倒的な迫
力を持つ名作です。

(帷子分館 熊崎)

アーサー・ビナード

(1967年 アメリカ・ミシガン州生まれ)
1990年に来日後、日本語で詩作を始める。『日本語ぼこ
りぼこり』(小学館)で講談社エッセイ賞を受賞。広島平
和記念資料館に収蔵されているモノたちを語り部として
描いた写真絵本『さがしています』(童心社)は、第60
回産経児童出版文化賞などを受賞。

最新刊『知らなかった、ぼくらの戦争』(小学館)
は、太平洋戦争の体験者をビナード氏が直接訪ねて話
を聞き、戦争の実態を探った記録です。

戦争を生き抜いた人も「事実はどうだったのか」を
知ることができなかったのです。自分や自分の家族、
友人などがなぜこんな目にあうのか、決して呑み込む
ことのできないまま、過ぎさなければなりません。無
念を少しでも晴らすべく行動した人もいました。ニュ
ーギニアで仲間の遺骨を収容した人、自分たちが運ば
された毒ガスの詳細を調べ上げた人…。それぞれの場
で、戦争と向き合ってきました。

日本人以上に豊穡な日本語を蓄えたビナード氏だ
からこそ、聞き出すことのできた「あの戦争の真実」
がつづられています。(本館 長谷川)

分類	書名	著者名	出版者名
情報			
007.6/ム/	スマホ世代のためのパソコン入門 タップとクリックって何が違うの？ パソコンでスマホの絵文字は使えるの？ スマホとパソコンの機能の違いを比較しながらパソコンを使う理由を説く、スマホ世代に向けた入門書。	村松茂／著	秀和システム
歴史・地理			
210.2/コ/	土偶のリアル 国宝 5 体とこれだけは見ておきたい土偶を、多数のカラー図版、貴重な資料とともに紹介。作られた当時の縄文人たちとの関係、現代に暮らす発掘した人々との関係も綴る。	譽田亜紀子／著	山川出版社
210.7/オ/	くらべる時代 オムライス、教科書、携帯電話、卓上ポット、フルーツ盛り、ランドマーク…。くらべれば時代の変化が一目瞭然！ 34 組の身近なものが、「昭和」と「平成」でどのように変わったのかを写真と解説で紹介する。	おかべたかし／文	東京書籍
289.2/ガ/	ガンディー現代インド社会との対話 多くの社会問題に極めて多岐・多様な活動を展開したガンディー。ネルー、ボースをはじめ、企業家・女性・農民、さらに日本人知識人にいたるまで、さまざまな人々との書簡などをもとに、ガンディーの新たな人間像に迫る。	内藤雅雄／著	明石書店
社会			
313.8/ド/1	独裁者たちの最期の日々 上・下 世界に惨禍をまきおこしたおもな独裁者たちの最期の日々に焦点をあて、信頼できる資料をもとに史実を追いながら、その今日的意味を問う。上は、ムッソリーニ、ヒトラーなど 12 人、下は、アミン、チャウシェスク、サダム・フセイン、金正日ら 12 人を取り上げる。	ディアンヌ・デュクレ／編	原書房
361.6/ウ/	「男損」の時代 人気マーケティングが、男女の「幸せ格差」要因を徹底リサーチ。女性が知らなかった、中年男性＝「熟メン」の生きづらさ、そして「しがらみ」を超えて人生を楽しむ方法を教えます。	牛窪恵／著	潮出版社
367.4/フ/	単身急増社会の希望 加速する未婚化と単身世帯化。家族機能が低下する中で、どのように支え合いの仕組みを作っていくのか。単身世帯の抱える実態を分析し、「支え合う社会の構築」をテーマに対策を考える。	藤森克彦／著	日本経済新聞出版社
383.8/ニ/	ニッポンの主婦 100 年の食卓 大正 6(1917)年の創刊号から、平成 20(2008)年の最終刊号までの『主婦の友』をもとに、世代による主婦像の違いや人気料理の変遷などを紹介。ニッポンを支え続けた主婦たちの暮らしがわかる。	主婦の友社／編	主婦の友社
自然科学・医学			
471.1/タ/	原寸で楽しむ身近な木の実・タネ図鑑&採集ガイド 街の中、自然の中の身近な木の実の特徴がよくわかるフィールド図鑑。美しい原寸大の写真に、名前の由来や学名の解説をつけて、全 160 種を紹介します。写真で引ける索引も収録。	多田多恵子／著	実業之日本社
493.7/イ/	ハイパーワールド 仮想空間で遭遇した自閉症の人々が語っていた内面世界は、情報を過剰なままに取り込んでいる強烈な脳内景色、ハイパーワールドだった。自閉症の社会史への深い洞察と、仮想エスノグラフィーから見える世界をレポートする。	池上英子／著	NTT 出版
499.1/セ/	お医者さんにもらった薬がわかる本 自分に合った薬の選び方や、ジェネリック(後発医薬品)のメリット・デメリットについて解説するほか、薬の危険度や副作用についても説明。薬の常識 Q&A、病院でよく処方される薬ガイドも掲載する。	関口詩乃／[著]	ディスカヴァー・トゥエンティワン

技術・家政

- 596.7/ **お父さんのための日本一やさしい料理本** 青木敦子／著 扶桑社
 イカバターごはん、ナポリタン、鶏もも肉のトマト煮、豚キムチ…。料理をしたことがない中高年男性に向け、超初心者でもおいしく作れるお昼ごはんレシピ 38 品を紹介。料理の手順をプロセス写真でわかりやすく解説します。
- 596.7/ **おいしく食べるあま酒レシピ** 舘野真知子／著 東邦出版
 昔から滋養のある飲み物として親しまれてきた、あま酒。500ml の保温水筒や炊飯器を使ったあま酒の作り方をはじめ、あま酒のスムージー・スープ・おやつ、あま酒を調味料として使ったおかずのレシピを紹介。
- 597.5/ラ/ **ライフオーガナイズの教科書** 日本ライフオーガナイザー協会／監修 主婦の友社
 空間や暮らし、人生を俯瞰し仕組み化する技術「ライフオーガナイズ」を学び、自分に合う片づけの仕組みを手に入れた 10 人の実例を紹介するとともに、ライフオーガナイズの進め方や利き脳タイプ別の片づけのヒントなどを解説。

産業

- 646.9/キ/ **毎日がしあわせになるはちみつ生活** 木村幸子／著 主婦の友インフォス
 はちみつは砂糖よりもカロリーが低いので、ダイエットにも好都合！化粧品として使用すれば美肌効果も！料理&スイーツレシピをはじめ、シーン別はちみつ生活、美容効果・薬効果など、はちみつのいろいろな使い方を紹介。

芸術

- 726.6/サ/ **佐野洋子 あっちのヨーココっちの洋子** オフィス・ジロチョー／編 平凡社
 世代を超えて愛され続けている佐野洋子。絵本の絵や銅版画などの絵画作品、エッセイに書かれた生き生きした言葉とともに、多くの友人たちの証言を紹介する。江國香織、唐亜明、亀和田武らの寄稿も収録。

日本文学—作家論、小説

- 910.2/カ/ **角野栄子の毎日いろいろ** 角野栄子／著 KADOKAWA
 「魔女の宅急便」など、千冊以上の児童文学を生み出してきた作家、角野栄子。82 歳の彼女から学ぶ、人生を明るく、色鮮やかに生きていくための「衣」「食」「住」のレシピ集。
- 913.6/イケ/ **キトラ・ボックス** 池澤夏樹／著 KADOKAWA
 奈良天川村-トルファン-瀬戸内海大三島。それぞれの土地で見つかった禽獣葡萄鏡は同じ鋳型で造られたと大学准教授・三次郎は推理する。博物館研究員の可敦と謎を追うが、何者かの襲撃を受け…。
- 913.6/イト/ **城をひとつ** 伊東潤／著 新潮社
 敵を攻めるのではない。敵の心を攻めるのだ。敵陣深く潜入し、一気に城を奪い取る。調略を武器に関東の覇者・北条五代を支えた影の軍師一族の孤独な闘いを描くインテリジェンス合戦記。
- 913.6/オン/ **錆びた太陽** 恩田陸／著 朝日新聞出版
 原発事故で汚染された地域を巡回するロボットたちの居住区に、謎の女・財護徳子がやってきた。ロボットたちは人間である徳子の指令に従うことにするのだが…。彼女の目的は一体何なのか？
- 913.6/カキ/ **嫁をやめる日** 垣谷美雨／著 中央公論新社
 ある晩、夫が市内のホテルで急死した。「出張に行く」という言葉は嘘だった。夫の隠された顔を調べはじめた夏葉子。一方、義父母や親戚等からの同情は、やがて“監視”へと変わり…。義父母、婚家からの「卒業」を描く。
- 913.6/クボ/ **やめるときも、すこやかなるときも** 窪美澄／著 集英社
 忘れられるわけなんかない。僕が生まれて初めて結婚しようと思った相手のこと。大切な人の死を忘れられない男と恋の仕方を知らない女の、切なく不器用な恋の物語。
- 913.6/クロ/ **果鋭** 黒川博行／著 幻冬舎
 右も左も腐れ狸や。元刑事の名コンビがマトにかけたのは、パチンコ業界。出玉の遠隔操作、極道顔負けの集金力、警察との癒着…。我欲にまみれた 20 兆円産業の闇を突く。
- 913.6/スミ/ **か「く」「し」「ご」「と」** 住野よる／著 新潮社
 みんなには隠している、ちょっとだけ特別なちから。そのせいで最近、君のことが気になって仕方ないんだ。クラスメイト 5 人の「かくしごと」が照らし出す、お互いへのもどかしい想いを描く。

- 913.6/ドウ/ **犬の報酬** 堂場瞬一／著 中央公論新社
 新聞記者×総務のエース×内部告白者。自動運転技術の開発に取り組んでいた大手自動車メーカーの「事故隠し」を巡る、三つ巴の、虚々実々の攻防。新聞記者に情報を流したのは、いったい誰なのか？ 経済エンタメ長篇。
- 913.6/ナガ/ **血縁** 長岡弘樹／著 集英社
 父親の介護に疲れた姉は7年ぶりに妹と再会し、昔交わしたある約束を思いだす。親を思う姉妹の気持ちの行方は-。「苦いカクテル」など7つの短編を収録。人生の機微を穿つ、ミステリの新機軸。
- 913.6/ナカ/ **秋山善吉工務店** 中山七里／著 光文社
 火災で家と主を失った秋山家。残された妻子は亡き夫の実家「秋山善吉工務店」に身を寄せる。一方、警視庁捜査一課の宮藤は、火災は放火だったのではと調べ始め…。味わい深い人情ミステリー。
- 913.6/ハヤ/ **我らがパラダイス** 林真理子／著 毎日新聞出版
 高級介護付きマンションで働く3人の中年女性。それぞれの家庭内で深刻な介護問題を抱える彼女達は、困窮していく我が身と、裕福な入居者達との想像を絶する格差を前に、一世一代の勝負に出る!
- 913.6/モリ/ **出会いなおし** 森絵都／著 文藝春秋
 出会い、別れ、再会し、また別れ-。人は会うたびに知らない顔を見せ、立体的になる。表題作をはじめ、「ママ」「むすびめ」など、人生の特別な瞬間を凝縮した珠玉の6編を収録。

日本文学—エッセイ

- 914.6/オオ/ **そして、ぼくは旅に出た。** 大竹英洋／著 あすなろ書房
 ノースウッズへ。それが自分の人生を前に進めることのできる、ただひとつの行動だった-。大自然に憧れ、写真家をめざすことになった1999年の旅を綴る。

外国文学

- 934.7/オ/ **冬の日誌** ポール・オースター／[著] 新潮社
 幼時の大けが。性の目覚め。パリでの貧乏暮らし。暮してきた家々。妻との出会い。母の死-。「人生の冬」を迎えた作家の、肉体と感覚をめぐる回想録。
- 973/ア/ **ふたつの海のあいだで** カルミネ・アバーテ／著 新潮社
 焼失した伝説の宿「いちじくの館」の再建を目指すジョルジョ。その孫フロリアンを中心に、土地に埋もれた記憶と、故郷に留まり生きることを選んだ人々の姿を重ねて描き出した長篇小説。

展 示 の ご 案 内

■ 4 / 26 (水) ~ 5 / 25 (木) ■

こどもの読書週間特集 「うちどく10おすすめのノンフィクション」展 (本館1階)

「うちどく(家読)10(テン)」は「一日10分読もう」「家族で10冊読もう」など、目標を決めて読書をする運動です。子どもと大人、どちらも楽しめるノンフィクション(知識・学習)の本をご紹介します。(こどもの読書週間:4月23日~5月12日)

■ 5 / 27 (土) ~ 6 / 4 (日) ■

たばこについて知っていますか?展 (本館1階)

毎年5月31日は「世界禁煙デー」です。また、厚生労働省では世界禁煙デーに始まる1週間を「禁煙週間」とし、たばこ健康問題について普及啓発を行います。たばこの害を知り、禁煙について考えてみませんか?

開館時間

【本館】平日 10:00~19:00、
 土日祝 10:00~17:00
 【分館】全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日

5月 1,8,15,22,26,29日
5月21日(日) 帷子分館は、帷子公民館まつり開催のため、臨時休館します。※本館と桜ヶ丘分館は通常どおり開館します。

携帯用
 サイト



「図書館だより」2017年5月号

発行: 可児市立図書館 編集: 長谷川(本館) 電話 (0574) 62-5120
 資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。